

2021年(令和3年)3月12日

厚木市議会議員 寺岡まゆみ様
厚木市長 小林常良様

厚木市議会議員
高田ヒロシ

提訴した名切文梨議員との和解を(申出書)

名切文梨議員(会派・あつぎの会)は2月26日、議会における質疑(2019年12月20日)が「不穏当発言」とされ、厚木市HP上の会議録から削除されたことについて、横浜地方裁判所に提訴しました。

主たる被告になると思われる寺岡まゆみ議長(会派・公明党)は小林常良厚木市長や見識を持つ方々と相談の上、戦うのではなく和解の道を探る事をお勧めします。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 市HPからの発言削除は、「住民にとって知る権利の制約」との見方もある |
| 2. 「判例変更」となった場合、厚木市の汚点となる |
| 3. 予算の浪費(裁判費用は市の負担。資料作成に伴う職員の残業代も増加。) |

被告に不利な判例として、「愛知県議会の議事録から議員の発言削除命令事件」があります。

その愛知県議の訴えについて、名古屋高裁判決では、「議会外にも配布される会議録に発言が記載される権利は、議会内部にとどまらず、一般社会と直接関係し重要」とされました。しかしながら、最高裁判決では従来通りに、地方議会の問題は、「自律的な解決に委ねられるべき」と退けられました。

原告	削除の対象	備考
愛知県議	配付用会議録(印刷版)、県HP会議録	名古屋高裁で勝訴
名切議員	市HP会議録	

その最高裁判決について、自治体HP上の会議録は、「一般市民法秩序と直接関係あり」、「発言削除は、知る権利の制約」などとする法学研究者も少なからずいます。

2020年11月、「地方議員の出席停止」について、最高裁で60年ぶりの判例変更がありました。司法に変化も見受けられます。なお、名切議員の発言が削除された際の配付用会議録(印刷版/議員などに配布)は、配布されていない状況にあります。

議長と名切議員がお互いの立場を理解し、最終的には尊重し合うようになることを望みます。どうかお願い致します。